

	監事	理事長	担当
認			

## 第 1 回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録

作成：2020年7月25日 藤川

【日時】2020年6月28日(日)13時15分～17時

【場所】醍醐交流会館 第3会議室

【参加者】竹中会長・豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事・公原さん  
手話通訳者 2名(交代制)

【添付資料】・2020年度日本大会実施について提案  
・2020年度強化指定選手・育成選手一覧&アンケート

### 【議案1】新理事体制について

2020年度の協会体制は、定時総会にて承認された通り、平田氏を加え、理事5名、監事1名とする。なお、協会の体制を確認して鈴木理事が次回の理事会までに委員会のメンバーについての提案を作ることにした。

### 【議案2】2020年度の事業について ※別紙にて説明

定時総会で配布した資料を確認しながら進めた。

### 【議案3】強化事業について ※別紙にて説明

大会について JP 大会と知的大会は中止、パラ春季と日本パラと知的関係は今後様子をみる。合宿はコロナのことでやらないのであれば他のことを考えておく必要がある。例えば、Web会議で研修など。やるかやらないか、ラインを決める。しかし、新しい生活に沿って事業を考え直す必要がある。個人合宿に JPC の強化費を使えないかを話し合った。

### 【議案4】第15回日本大会について ※別紙にて説明

大平理事から日本大会の実施について3つの提案を確認した。9月に様子をみて延期するか、11月、来年の2月は前日が平日なので、当日の朝は準備して昼から試合するなどの工夫を話し合った。最終の2月で様子をみて中止か開催するかは12月に決める。中止になったときの2021年のプランを考える必要がある。要項に中止の可能性があることを記載しておく、参加費も後払いする、3密対策として参加対象者をろう者だけにし、セレモニーもなし方針に話し合った。今まで同じことはできないため、コロナ(新しい生活)対策を考えていく必要がある。豊田理事長が7/8までにコロナ対策として物品などを10万円以上の助成金が申請する。日本大会が2021年デフリンピックの選考会と重なっているが、パラ春季とJP大会も選考対象にする。

### 【議案5】カバナスコードについて

7月の説明会に竹中会長と豊田理事長と公原さんが対応する。

## 【その他】

### ・スポーツ女性アスリート委員会の担当について

JPC との窓口する担当について話し合った。メインは藤川理事でサブは鈴木理事に決定した。

### ・アンチ・ドーピング委員会について

9月の日本大会で実施予定だったが、2月に延期する。検査対象者の配慮などに確認する必要がある。今後ガイドラインで作成する。

### ・新型コロナウイルスに対するガイドラインについて

水泳競技としては日本水泳連盟のガイドラインに順する。デフスポーツとしては全日本ろうあ連盟のガイドラインに従う方向にする。

### ・強化指定選手の地域での支援・助成について

今後、鈴木理事が選手に調査する。次回の理事会で報告。

### ・デフアスリートの「元気が出る動画」の依頼について

積極的にPRとして良いと思う意見をいただいた。鈴木理事が中東選手は実家でプールを設置して練習している動画を送ってくれたから中東選手が良いと思う。他の選手については藤川理事が対応する

### ・ボランティアスタッフ募集の発信について

コロナに対するガイドラインができた次第に発信する。発信する前に理事に再度確認するために連絡する。

### ・接触確認アプリ(COCA)の周知について

スポーツ庁から周知依頼あったが、トラブルがあったため様子を見ることにした。

### ・2020年日本規程国内コンサルテーション説明会について

説明会は Web 視聴で大平さんとドーピング担当者である佐藤さんと峯さんが対象者なので藤川理事から3名に JPC からのメールを共有する。

### ・会員の結婚式日程について

会員から日程変更の連絡を受けて、理事会と同じ日に被ったことで豊田理事長は協会の代表として理事会を優先するという意見があった。鈴木理事は「今まで協会へ貢献してくださった方なので、お祝いし行ってあげたほうが良いと思う」と意見があった。日程変更することを理事全員が承認した。

### ・JPC ビジョンについて

7/3 にオンラインで豊田理事長と鈴木理事が参加する。内容については次回の理事会までに共有する。

### ・SDGs スイマソンについて

スポンサーを見つめたい。(100社くらい)。今後配信してくれる。竹中会長から、協会から見返り(グッズ)と契約書かわす平等にすることを話があった。

### ・デフリンピックの選考基準について

ろうあ連盟からの情報を共有した。選考基準は協会で決めることになる。また本部にいるトレーナーとドクターがなくなるため、協会で付けることになる。謝金は協会が負担する。

### ・協会の名称について

スポーツ団体の名称が「ろう」から「デフ」に変わる団体が増えたため統一として「日本ろう者水泳協会」から「日本デフ水泳協会」に変更する。ただし、名称変更するときに必要な手続きの関係で2年後に変更することを決

定した。

**・強化会議の日程について**

コロナによるリスクなどを見直してから連絡する。

上記（１）～（５）において理事全員承認した。

**★次回は 8月9日(日) 13時～17時 醍醐交流会館 第1会議室**

	監事	理事長	担当
認			

## 第 2 回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2020 年 8 月 16 日 藤川

【日時】2020 年 8 月 9 日（日）13 時～17 時

【場所】醍醐交流会館 第 1 会議室

【参加者】豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事  
手話通訳者 2 名(交代制)

【添付資料】・各委員会に関わる担当業務について

### 【議案 1】強化事業について ※別紙にて説明

午前の強化会議で説明した内容を理事全員に共有し、委員会の名称統一と 2020 年度強化事業概要(合宿)の補足と修正についての 2 件を承認した。承認後は HP に掲載するように豊田理事長と藤川理事が対応する。協会のコロナ対策のガイドラインは 9 月まで作成し次回の理事会に提案する。11 月の日本パラを来年 3 月に延期したことについて共有した。また、この大会への参加について、JDSA は通常は参加資格はないが、現在、表彰対象外での参加を認めてもらえるよう調整中であるという報告があった。

### 【議案 2】第 15 回日本大会について

コロナがいつ終息するか見えないため今すぐ開催日程に決めることは難しいと判断した。他団体との大会開催予定も見ながら、来年の 10 月の 3 連休のうち 10 日(日)を第 1 希望で大平理事が兵庫県水泳連盟に確認する。場所は今年度と同じ場所にする。豊田さんからの提案でデフリンピックの壮行会を日本大会終了後に予定したい。

### 【議案 3】カバナスコードについて

7 月のカバナスコード説明会に竹中会長と豊田理事長がオンライン参加した。本来は竹中会長から説明の予定だったが都合より代理として豊田理事長から説明した。今年は自己チェック(A～F)を竹中会長と一緒に確認しながら作成して理事たちに報告した後に申請する。ただ、42 項目のうち 4 番目のガバナスだけは注意して欲しい。設立から 10 年以上超えた場合は役員を降りなければならないことを猪飼監事が資料に沿って説明した。豊田理事長の今後については竹中会長と相談する必要がある。理事からは役員ではないが実務をしっかりとやる立場の確保を一案した。

### 【その他】

#### ・コロナ関連再開支援について

JPC に前回した申請は通したが、今年の日本大会が延期になったため活用する機会がなくなった。豊田理事長が ZOOM の登録代・オンライン会議で使用する Wi-Fi は対象なるかを JPC に確認したが JPC からは対象外ため使用不可と連絡あった。鈴木理事から企業による事例を説明し、持続化給付金(経産省)を協会として

申請することはできないかと提案があった。スポーツ庁の継続支援などを調べて JPC に確認するように豊田理事長が対応する。

**・謝金規程について ※別紙にて説明**

JPC から謝金の指摘があったため、謝金規程を見直した。オンライン会議の謝金と資格あるなしの分けが分かりづらいため休憩時間に豊田理事長と鈴木理事と猪飼監事が謝金の基準を見直しと対象者決めを話し合った。話し合った内容をホワイトボードで確認して理事全員承認した。

**・ろう児の保護者からの問合せについて**

先日大平理事がメールで対応したがその後返信がなかった。スイミングクラブ協会障がい者委員会への働きかけを含めて協会と連携しながら今後の窓口担当は大平理事とする。

**・マスク販売について ※パウポにて説明**

親の会と相談した内容の共有とマスク販売とマーケティングについて提案を出した。協会としては販売できるのあればいいが、商標登録等については竹中会長と相談、鈴木理事が身体障がい者水泳連盟に確認して次回の理事会で共有する。担当は平田理事と藤川理事が中心に HP も活用するなど計画をたてる。

**・担当業務一覧の確認 ※別紙にて説明**

理事全員に各委員会のメンバーを確認して承認した。提案通りで始める。協会の運営委員会は協会と同じであるため、どちらか一方のみとする。子供教室は企画書を作って次回の理事会に提出する。アスリート委員会の運営メンバーについては、まず、HP 運営担当する金持さんに打診する。今後、茨さんもアスリート委員候補するかどうかを検討していく。

**・日本障がい者水泳協会の情報について**

日本身体障がい者水泳連盟が、パラ水泳連盟として法人化することに対して日本ろう協会として簡単に返事しないでしっかり考えていくこと。意見の話し合いは次回の理事会にする。水泳の日(8/14)の PR について確認した。豊田理事長と藤川理事が対応する。

**・第 24 回夏季デフリンピック選考について**

9 月からろうあ連盟からヒアリングが始まる。それまでに選考委員会で案を考えて次回の理事会に提案する。

**・2023 年世界ろう者水泳選手権大会キックオフ MT について**

コロナの影響で今後からはオンライン会議で話し合っていきたい。

上記（１）～（３）において理事全員承認した。

**★次回は 9 月 13 日(日) 13 時～16 時半 醍醐交流会館 第 2 会議室**

	監事	理事長	担当
認			

### 第3回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2020年10月5日 藤川

【日時】2020年 9月13日（日）13時～16時30分

【場所】醍醐交流会館 第2会議室

【参加者】竹中会長・豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事・猪飼監事  
手話通訳者 2名(交代制)

【添付資料】・2021年デフリンピック大会日本代表選手選考委員会 規程  
・職務分掌 規程

#### 【議案1】強化事業について ※パワポにて説明

##### 【説明した内容】

- ・11月の合宿は12月末に延期（選手にアンケートを取って決定する）
- ・2月合宿は、1日目を練習（または記録測定など）、2日目は説明会とする
- ・合宿においては、ドクターとの連携を取る。加えて施設最寄りの医療機関の確認をしておく。
- ・選手・スタッフ共に透明マスクの持参を義務化してもOK
- ・事業を安全に行うために、他団体からの情報収集も必要。
- ・東御合宿地の視察は予定通り行う。
- ・選手へのヒアリングは少し様子を見てから行う。

選手の練習状況と提出状況を共有した。今後の試合(日本パラと春季パラ)と強化合宿についての説明を聞き、理事全員承認した。今年のパラ春季の参加費を選手へ返金する必要があるため、豊田理事長が対応する。また、各選手の試合や練習の下見行くための助成については鈴木理事が JPC に確認する。コロナ対策としたガイドラインは日本水泳連盟とろうあ連盟のガイドラインを確認し、合宿用ガイドラインを作成していく。施設のガイドラインも一緒に確認していく。

#### 【議案2】デフリンピック選考について ※別紙にて説明

デフリンピック日本代表選手選考委員会の規程を理事全員に確認し、文章の追加・内容確認を行った。

7不服申し立ての(5)に「審査費用3万円の金額の根拠について」はどうかを理事全員で話し合った。いったん、金額等はそのままにしておくこととし、大平さんから公原さんに確認をする。確認でき次第メール等で共有することとする。

#### 【議案3】カバナスコードについて ※別紙にて説明

ろうあ連盟からカバナスコードのヒアリングについて理事全員に確認した。豊田理事長がフォームを入力してろうあ連盟に提出する。またJPCからの任期についてメールを確認した。職務分掌規程について鈴木理事から別

紙にて説明し、理事全員確認した。新しい委員会(危機管理委員会とコンプライアンス委員会(倫理委員会にコンプライアンスのことを追加して置き換える))についての話し合いと新しい規程を作る担当決めを行った。コンプライアンス委員会の規程は竹中会長、危機管理委員会と女性アスリート委員会とアスリート委員会の規程は豊田理事長が作成する。その他、現在ある規程については、委員長が見直しをする。

#### 【議案 4】アンチ・ドーピングについて

オンラインでアンチ・ドーピング活動説明会を開催された。JPC からアンチ・ドーピングの資料が届いているため、メディカルの担当は確認いただきたい。団体の負担金について話し合った。今後のアンチ・ドーピングについて、実施することを考えて払ったほうが良いという意見があった。

#### 【議案 5】マーケティングについて

前回の理事会の宿題として、鈴木理事から日本身体障がい者水泳連盟のグッズ販売や方法などをパワポで説明した。法人会計として 50～60 万かかるため都道府県の助成金で活用されたことがあるとのこと。当協会の事務局が京都なので調べておくと良いと話があった。また、登録商標については区分(商品や細かい種類)があるため、実績のあるケースを参考してから申請したほうが良いと話があった。お金の面からネット販売じゃなくても友人や家族など呼びかけて販売する方法が良いと意見があった。

#### 【議案 6】第 15 回日本大会について

コロナによる状況で内容とスケジュールを明確に決めておくと良いと意見があった。希望としては、10月9日準備、10日大会、11日激励会としたい。大平理事が兵庫県水泳連盟に確認する。

#### 【その他】

##### ・コロナ関連再開支援について

JPC に前回した申請は通したが、今年の日本大会が延期になったため活用する機会がなくなったため、今回は取り消しすることを決定。豊田理事長から JPC に取り消しすることを連絡しておく。

##### ・国際デフスポーツに関する情報について

ICSD カン会長の退任について理事全員に共有した。

##### ・法人について

豊田理事長からは運営の面で NPO に変更したいと意見があった。

##### ・日本障がい者水泳協会の情報について

日本身体障がい者水泳連盟が、パラ水泳連盟として法人化することについて再度確認した。時間が迫っているため次回の理事会で議論する。

上記(1)～(6)において理事全員承認した。

**★次回は 10月11日(日) 13時～17時 ラクトスポーツプラザ コミュニティルーム**

	監事	理事長	担当
認			

## 第4回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2020年10月31日 藤川

【日時】2020年10月11日（日）13時～17時

【場所】ラクトスポーツプラザ コミュニティルーム

【参加者】豊田理事長・鈴木理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事

手話通訳者 2名(交代制)

【添付資料】・JPC 戦略計画について

・世界大会準備委員会・第15回日本大会の進捗報告

### 【議案1】強化事業について ※パワポにて説明

午前の強化委員会で提案した内容(以下通り)を共有した。

- ①3月の日本パラ選手権でデフリンピック第1次選考会として参加する
  - ②12月と2月の合宿はコロナ・インフルエンザ等の感染症を予防対策しながら開催する方向で準備していく
  - ③今後の準備とルートマップについてメールで連携していく
- 3つの提案を理事全員承認した。選手の練習状況と提出状況を共有した。

### 【議案2】デフリンピック選考について

来年の3月の日本パラ選手権が第1次選考会として位置づけする。それまでに選考委員会のメンバーで基準タイムについて話し合っ進む。10月末までに豊田理事長が今までの作成した記録を鈴木理事に送る。鈴木理事が基準記録の資料を作成する。

### 【議案3】カバナスコードについて

5つ作成し、竹中会長からのアドバイスを受けて修正した。委員長は豊田理事長が作成した規程を修正していく。アスリート委員会と女性アスリート委員会の規程は藤川が確認する。委員会のメンバーは組織図も合わせて豊田理事長と鈴木理事で11月の理事会までに提案する。2月の説明会に向けて規程・メンバーを決めていく。

### 【議案4】アンチ・ドーピングについて

前回の理事会で説明した内容を再度確認した。当協会はカテゴリーC(10万円)決定通知が届いたため、10月末までに豊田理事長が公原さんと一緒に手続きする。2020年度は、JPCに支払うこととしたが、2021年度以降については、今後の検討事項となった。

### 【議案5】マーケティングについて

まず商標登録の準備をしていく。区分が細かすぎるため、藤川理事が、竹中会長と相談を進めていく。相談後に、親の会(マスク・鞆・キャップ)のものは候補に入れる。オンラインショップ含めて勉強しながら準備していく。

今は、大会などでブースを作って販売していく。(できることから始めていく)

**【議案 6】第 15 回日本大会について ※別紙にて説明**

大平理事が不在ため代理として豊田理事長が説明した。2021 年 10 月 10 日に開催すること決定。開催に向けて準備していく。

**【議案 7】世界大会準備委員会について**

グロリア・京王・デンソー(風間さん)タビックス(鈴木理事)に確認してみる。スポンサーに加えて自治体(奈良県・大和郡山市)から補助金など出してもらおう方法を考えていく。

**【議案 8】実態調査について**

12/2(水)16 時から JSC 2 名と公原さん・豊田理事長・通訳者 2 名と一緒に Web オンラインで実施することになった。

**【議案 9】公原会計士への報酬について**

月 1 回に理事長、会計士、強化委員長が参加する。このような形にすることで、実際の会議に対しての謝金を支払えるようになる。内容によって他の理事や監事も参加することは可能。

**【議案 10】パラ水泳連盟について**

日本パラ水泳連盟になると、例えばスポンサーの窓口になる可能性もある。日本水泳連盟のガバナンスコードの関係で法人化をとるためのこと。当協会としては、①外部理事は複数にする ②二重登録会員の整理 ③金銭の保証 ④使える施設を平等 の 4 つの意見を出したが、賛成・反対については保留した。11 月初旬までに理事全員の意見を鈴木理事がまとめて資料を作る。次回の理事会(11/22)に確認する。

**【その他】**

**・法人について**

前回の理事会で豊田理事長が運営の面で NPO に変更したいと意見があった。その後一般社団公益法人に変更したらよいと考えたが、公益目的を満たさなくなったら一般社団には戻れないと分かった。まずは、①協会の運営力を高める。固定費(30 万)を知る(→固定費を超える収益が必要)②助成金(国税)をもらって事業ができていく。協会としての固定費を払える力をつける。(自主事業(子供の教室計画と予算をあげる)やスポンサーを努力する、正会員が 1 人 5 万円寄付する、賛助金を集めるなど)。自主事業としての案を次回の理事会で意見を出す。

上記(1)～(10)において理事全員承認した。

**★次回は 11 月 22 日(日) 9 時半～12 時半 醍醐交流会館 第 1 会議室**

	監事	理事長	担当
認			

## 第 5 回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2021 年 1 月 10 日 藤川

【日時】2020 年 11 月 22 日（日）9 時 30 分～12 時 30 分

【場所】醍醐交流会館 第 1 会議室

【参加者】 竹中会長(オンライン)豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事  
平田理事・猪飼監事・公原さん(オンライン) 手話通訳者 2 名(交代制)

【添付資料】 ・2021 年デフリンピック大会 日本選手選考委員会規程(修正版)  
・2019 年デフ子供水泳教室(報告)  
・強化事業について  
・ガバナンスコードについて(役員名簿・組織図・委員会メンバーの提案)  
・パラ水泳連盟について

### 【議案 1】ガバナンスコードについて ※別紙にて説明

前回の理事会で確認した日本代表選手選考委員会規程の第 7 条(5)「審査費用 3 万円」について再度竹中会長と公原さんに確認した。公原さんからは収益事業には当たらないので、法人会計としては雑収入にあげる。会議後公原さんから補足にメールが届く予定。

役員名簿と組織図と委員会メンバーについて鈴木理事から説明した。委員会の名称の変更等の確認をした。「女性スポーツ委員会」「事務局→運営委員会」「倫理委員会→コンプライアンス委員会」。新しい委員会として「危機管理委員会」を追加した。組織のつながり方について、組織図で確認し、今後、役員名簿を参考に見直していくこととした。

### 【議案 2】実態調査について

12/2 に豊田理事長と公原さんと手話通訳で対応する予定。ブラジルの世界大会の派遣の契約書はあるが、世界大会の視察の契約書がなかった。それに対して厳しい評価になることを頭に入れて欲しい。結果については次回の理事会で報告する。

### 【議案 3】収益事業について ※別紙にて説明

昨年度のデフ子供水泳教室の実施報告をした。今年はコロナのために厳しい状況。来年度は子どもの水泳教室などと収益力を高めるために色々としていきたい。予算と実績を知りたいと意見があったため、担当だった向さんに確認して次回の理事会で共有する。豊田理事長から「収益事業はお金が発生することになると思うが、雑収入になるのか？」に対して公原さんは「来年も再来年も毎年継続的に行うものであれば、「水泳教室収入」などの別の項目であげるとよい。」と話があった。来年度の計画書を作成しておく。

その他にマーケティング事業に関して公原さんに確認した。水泳のかばんなどは物品販売収入とする。豊田理事長は「「非営利」なので売上が発生してしまうと、法人税が発生するのか？」と公原さんに確認した。公原さんは「そうなると思う。法人税というのは「収入」から「費用」を引くので、それがゼロを下回るのであれば、今まで通りにゼロになる。」と説明があった。また、猪飼監事から源泉について確認があった。公原さんからは「引いて納付はしているが、源泉徴収票を発行していなかった。今年から発行をする。給与ではなく謝金なので年末調整をしないで報酬の支払として源泉徴収票を発行する。」と説明があった。

#### **【議案 4】強化事業について ※別紙にて説明**

ジャパンパラ競技大会について、デフリンピックの選考を兼ねるため、200m 自由形の参加を認めてもらうこと、またライブ配信の方法の確認をして保護者等に周知することとする。第 1 回合宿の実施は中止することを理事全員が承認した。第 2 回合宿と説明会に 6 日の練習内容はどうかを意見で話し合ったが保留した。協会に協力してもらえそうなドクターと面会し、徐々に関わっていただくことで理事全員が承認した。第 2 回東御市視察について 3 点確認した。会議終了後、鈴木理事が東御市の担当と相談して調整する。練習視察とヒアリングについて担当を分けた。提案が承認されたらスケジュールの調整等を打診してから決定する。

#### **【議案 5】第 15 回日本大会について**

2021 年 10 月 10 日で決定。開催地は相生プールで行う。

#### **【議案 6】アンチ・ドーピングについて**

11 月 15 日に JADA の研修の話があった。30 分くらいの簡単なもの。2021 年度から内容が変わるため、それについての説明だった。一番大きいことは 18 歳以下の場合、ドーピング検査の同意書を提出が必要になるが JADA のホームページからダウンロードして試合ときに持参をもらって、選ばれた場合はその同意書を渡す。同意書は一度渡したらもし 2 回目あっても JADA が保管しているものでよい。15 日までにして下さいとのこと 2021 年度からいろいろ変わることが多い。研修があるようなのでできるだけ参加するようにしたい。2 月の説明会で選手に説明するとともに思慮を配布する。

#### **【議案 7】世界大会準備委員会について**

現在は、旅行会社（4 社）の選定をしている。

#### **【議案 8】パラ水泳連盟について ※別紙にて説明**

身体障がい水泳協会の櫻井さまの提案をパソコンメールで送った。鈴木理事がパワポで説明し、理事全員と監事の意見を改めて確認した。知的連盟からの情報を理事全員と共有し、櫻井さまから説明を聞いてから賛成か反対かはっきり決めやすいと意見があった。「パラ」という名前について、どうしてもパラリンピックをイメージしてしまうので、名前の検討も考えてほしいとの意見もあった。次回の理事会の前に日本障がい者水泳協会の会議で豊田理事長と大平理事が出席するのでその時に確認する。

#### **【議案 9】メールの内容確認について**

豊田理事長から指示がなかったため締切日があるいくつかのメール(10 件)を確認した。今後からは鈴木理事と藤川理事がフォローする。協会のために何かを契約するなどの際には、必ず理事会に諮って決めることとする。（例えば、今年度、理事長が契約した倉庫など）

上記（１）～（９）において理事全員承認した。

**★次回は 12月6日(日) 10時～13時 ラクトスポーツプラザ コミュニティルーム**

	監事	理事長	担当
認			

## 第 6 回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2021 年 1 月 2 日 藤川

【日時】2020 年 12 月 6 日（日）10 時 00 分～13 時 00 分

【場所】ラクトスポーツプラザ コミュニティルーム

【参加者】 竹中会長・豊田理事長・鈴木理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事  
手話通訳者 3 名(交代制)

【添付資料】 ・強化事業について  
・定款と規程について見直し

### 【議案 1】強化事業について ※別紙にて説明

本日の午後の強化会議で説明する内容を資料で確認した。2021 年度スケジュールなどを含めて検討し、午後の会議で説明後、承認してもらう。オンライン研修の報告は午後で行う。

### 【議案 2】実態調査について

豊田理事長と公原さんと手話通訳者 2 名と JPC から 4 名でオンラインにて調査を行った。調査した結果、問題なしだった。源泉徴収については公原さんが確認した。ブラジル世界大会の視察派遣の契約書については問題なかったが旅行会社と豊田理事長のお互い確認漏れてしまったことで今後からは気をつけることにした。倉庫の契約について理事全員に確認して承認した。今後から契約するときは理事会で確認して承認してから執行するようにする。

### 【議案 3】2023 年世界大会について

2023 年世界大会の開催地の「アルゼンチン」については突然の発表だった。これまでの情報はなかったため、豊田理事長が国際デフ水泳のテクニカルディレクター(以下「TD」とする)の 2 名でメールでやりとりしたことを理事に共有した。アルゼンチン関係者から連絡があった。

- ・日本は手順に従って進んでいるがアルゼンチンは手順に従ってない。TD も知らない。アルゼンチンが勝手に発表された。現在はろうあ連盟も ICSD に確認中。TD とも連絡とっている。

- ・TD からは日本開催に向けて準備するよう言われている。

- ・最終的には ICSD がアルゼンチン or 日本どちらかに決まる。 決定は保留となっている。

現在は立候補しているのはアルゼンチン、立候補の準備をしているのは日本。まだ奈良県でやることは決まっていないことをわかった上で奈良県や世界大会準備委員会は現在動いている。決定機関・事実関係などはきちんと確認してから進めていく。現在は確認中(返信待ち)が連絡あったら豊田理事長が理事全員に報告するようにする。

### 【議案 4】パラ水泳連盟について

12/8のリモートで日本障がい者水泳協会のミーティングに当協会から豊田理事長と大平理事が出席するが、鈴木理事も出席する。賛否の返事するのではなく、内容を持ち帰って次回の理事会ではかる。手話通訳者については豊田理事長が身体水泳連盟の櫻井さまに相談して依頼しておく。お金については後で考えていく。豊田理事長が伝えたいことは鈴木理事と大平理事がフォローする。他の人が豊田さんに伝える方法はチャット対応する。

#### 【議案5】定款・規程について ※別紙にて説明

現在の協会のホームページに掲載している定款と規程を見直したいと豊田理事長から提案があった。資料を確認しながら廃止と変更と新規作成を分けた。「ガイドライン(コンプライアンス規程に含めるため)」「選考委員会規程(世界大会・アジア大会)」「倫理規程(コンプライアンスに含めるため)」「倫理委員会規程(コンプライアンス含めるため)」は削除する。「旅費規程」と「謝費規程」の別紙を別表に変更する。「コンプライアンス規程」「個人情報の規程※」は竹中会長が作成し、「各委員会の規程」は委員会で作成し、次回の理事会で提案する。竹中会長に確認してもらい、3月の理事会で再提案する。

※個人情報の規程はコンプライアンスとは別に定める。コンプライアンス規程は、竹中会長が1月の理事会で提案する。

#### 【議案6】JPCの戦略計画について

オンラインで豊田理事長と鈴木理事が出席した。豊田理事長がJPCとろうあ連盟の下になることなどを資料にて説明した。鈴木理事はパラリンピックとデフリンピックの違いを確認して欲しいと意見があった。会議終了後、資料を理事全員にメールで共有する。

#### 【議案7】JPC加盟団体・役員向け組織力向上研修会について

竹中会長と豊田理事長と藤川理事が出席した。1人ずつ気づいたことを理事全員に共有した。

ビジョン・ミッションを早急に作る事が大切。資料にプロセスがある。

①協会の現状を分析 ②長い目でどうありたいか ③長い目を目標にどうしていくか を今後の理事会で考えていく。(例)プロジェクトチームを作って理事会にビジョン・ミッション案をあげていく

#### 【議案8】JPCインテグリティ研修会について

「アスリートとコンプライアンス」は日本代表のみ。「SNSについて」はSNSに使用している高校生以上を対象にした。動画で視聴しながら受講するように選手へ連絡済み。

#### 【議案9】JPC：令和2年度会長表彰の推薦について

当協会からは豊田理事長に推薦する。手続きは藤川が対応する。まず日本ろうあ連盟に確認いただいてから提出する。

#### 【その他】

##### ・【報告】2019年デフ子供水泳教室の予算と実績について

前回の理事会で報告できなかったデフ子供教室の予算と実績を藤川理事から報告した。しかし、担当が向さんだったため、藤川理事は何を使ったのか把握しておらず明確な内容がわかりづらいため、収支・支出表を作成して次回の理事会で提出する。今後からは事業計画の際に予算書を作成し、事業終了後には決算書を作成して報告することとする。収支・支出表を活用して報告するようにする。

**・オンライン環境について**

豊田理事長と鈴木理事と藤川理事が Teams を 1 回テスト実施する。Zoom で長時間活用する場合は竹中会長にお願いしてもらおう。

**・理事会の日程変更について**

鈴木理事の都合により 3/20 を 3/14 に変更した。本日欠席する大平理事に藤川理事からパソコンメールで連絡する。

上記（１）～（９）において理事全員承認した。

**★次回は 2021 年 1 月 24 日(日) 9 時半～16 時 45 分 ハートピア京都**

	監事	理事長	担当
認			

## 第7回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2021年2月9日 藤川

【日時】2021年1月24日（日）9時30分～16時45分

【場所】ハートピア京都

【参加者】 竹中会長・豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事  
手話通訳者 2名(交代制)

【添付資料】 ・2021年度第15回日本ろう者水泳選手権 予定表  
・クラウドファンディングについて（電通スポーツパートナーズ様）  
・2019年度デフ子供水泳教室 予算と実績について  
・2025年夏季デフリンピック準備室会議について(報告・共有)  
・強化事業について  
・アスリート委員会・女性スポーツ委員会の規程

### 【議案1】パラ水泳連盟

「パラ」という名前は気になる。猪飼監事から身体常務理事会の報告では、知的は賛成している。ろうが反対でも進めていく方針。ろうの要望を伝えて受け入れてもらえることを条件にする。(外部理事として意見を取り入れてもらうことを条件に賛同することとする) →条件付で賛同する。

### 【議案2】定款・規程について ※別紙にて説明

選考委員会は年末に、強化委員会は年度初めに変更済み。女性スポーツ委員会は変更案で確認した。3条(4)については、運営委員会・女性スポーツ委員会双方から考えたほうが良い。(意識を高めるために)(2)(5)女性スポーツ指導者でなく、女性スタッフと変更する。アスリート委員会は変更案で確認した。4条の副委員長については改めて考える。5条は16歳以上でなく18歳以上に変更する。付則2021年を2020年10月11日に変更する。改訂したら追記しておく。専門委員会と旅費・謝金・財務と処分の規程は豊田理事長、大会実行委員会とアンチ・ドーピングとアンチ・ドーピング委員会の規程は大平理事が作成する。3/14の理事会までにメールで資料を回すことを理事全員に確認した。

### 【議案3】2021年度日本大会の進捗 ※別紙にて説明

予算について、ボランティアの謝金は1人1000円。ろう水協スタッフは強化費用利用するため予算は載せない。できる限りのコストダウンを工夫する。手話通訳は交渉して強化費利用するため予算は載せない。プログラムは手作りする。知的・兵庫県の子供たちに交流できるように声かける。コロナ対策はまだ入れていない。延期 or 中止の判断は4月に考えていく。

### 【議案4】2024年世界大会の進捗について

ICSDのHPにアップされた。経緯はTDからICSDに説明し承認して公開された。世界大会をやること・開催日が2024年3月1日に載せてあるが、開催日程は日本が決めて良いと言われた。TDからICSDに説明し承認して公開された。ろうあ連盟・奈良県等と話し合っ進めていく。ただ、奈良県は緊急事態宣言が解除後に相談を進める。2023年アルゼンチン開催が決定。2024年短水路世界大会開催できるか。トラブルが起きないように慎重に進める。しかし、第1回短水路世界大会は2022年3月1日ポーランドに決定されていることをICSDの公式HPで公開されている。豊田理事長がろうあ連盟とTDに確認する。保留する。

【参考】日本が候補→ろうあ連盟に許可→TD→ICSD→奈良県（まだ決まっていない）

#### 【議案5】強化事業について ※別紙にて説明

「2020年度の強化事業報告」

第2回東御合宿地の視察はコロナの緊急事態宣言解除後なので様子を見る。

「2020年度の今後の強化事業」

2/7 臨時強化会議はリモートでリハーサルを実施する。藤川が事前にスキルアップ研修会と臨時強化会議の開催ご案内を強化スタッフに連絡するようにする。トレーニング動画の配信については佐藤さんが準備して豊田理事長に確認するようにする。パラ選手権大会の申込締切日が25日延期した。当日は想定300名が出場する。

「2021年度の強化事業計画(初案提案)」

合宿については2021年9月以降に計画する。指定大会の日程について確認した。デフリンピック壮行会の実施は、東京オリパラ開催の状況を見て決める。強化委員会で計画することを共有した。

#### 【議案6】スキルアップ研修会について

主にハラスメントについて行う。

10:00-12:00 竹中会長からの講義

13:00-15:00 ①AMについてグループワーク ②協会のマーケティング(将来・理念・ビジョン)しっかりしていれば協賛していただきやすい社会貢献する。③JPC等の研修会の共有

協会外の人も参加可能(オンラインでの参加)。会費については今回はなし。次回からは理事会で検討していただくようにする。手話通訳は黒石さんと長山さんとオンラインと対面について相談する。

#### 【議案7】デフリンピックに向けてクラウドファンディングについて ※別紙にて説明

資金だけでなくファンの獲得と、キャンプファイヤーなども考える。協会としてのメッセージが大事。(デメリットとメリットを明確する)リターンは協会の強みを活かしていく。(例：子供デフ教室の無償指導など)31日の研修会で材料して、これで終わらずに続けていく。協会のクラウドファンディングについてなどをデンツウの方に説明し来てもらう。(来年度以降)

#### 【議案8】2019年度デフ子供水泳教室の予算と実績について ※別紙にて説明

収入の部と支出の部、両方報告した。向さんから「鈴木さんが強化事業として払えると聞いた」と発言があったが、鈴木理事は「強化事業としては払えないかも」と発言があった。その件で誤解があった。

#### 【その他】

##### ・JPC インテグリティ研修会について

1/16JPC 主催のオンラインで当協会からは豊田理事長と藤川理事にのみ出席した。他スポーツ団

体は選手が積極的に出席していたことから当協会の選手が出席しなかったことに対して恥ずかしいと思った。オンデマンド配信の内容より直接にオンラインの方が情報たくさんがあって良い機会になったはずが残念だった。今後の JPC 主催研修会があるときは、必ず出席するように周知する。オンデマンド配信視聴した選手に所感を書いてもらうようにする。

**・2025 年夏季デフリンピック準備室会議について ※別紙にて説明**

1/28(月)2025 年夏季デフリンピック準備室会議の YouTube ライブ配信に視聴した。会議ときの様子と 2025 年夏季デフリンピックの案、デフリンピアン・パラリンピアンの紹介などを報告した。当協会からは茨選手がデフリンピアンとして出席し、「競技力を高めるだけでなく、デフリンピックや聴覚障がいのあるスポーツについて国民に知ってもらうように広めることが必要」とコメントがあった。当協会が発掘事業をもっと力を入れる必要があること、招致成功するために当協会ができることから動くべきだと思う。

**・会議室について**

TKP ガーデン会議室(京都駅の近くで便利)を 4 月から使用したい。Wi-Fi 付きで料金は高いが、助成金を使う。場合によっては良いが、通常に使用するには t 高すぎるため、使いわけをする。

**・スポーツ用品**

4 月に購入する予定。欲しいものがあれば 2 月中旬までに申し出るように。ただ、100 万以上のものは相談する必要がある。PCR 検査も対象可能。

**・今年度の強化費について**

使いきれていないため見直しをした。2020 年度の追加事業はない。

**・T さんについて**

来年度会員登録する予定と 3 月の日本パラ選手権に出場する予定と連絡あり。

**・公原さんからの源泉について**

31 日の研修会終了後に豊田理事長から説明する

**・JPC からの連絡等**

各委員長に確認して承認後、鈴木理事と藤川理事から発信・周知する。人数が限られているものは、強化総務会議等で優先順位をつけて案内する。

上記(1)～(8)において理事全員承認した。

**★次回は 2 月 7 日(日) 10 時～12 時 TKP 京都 4 階**

	監事	理事長	担当
認			

## 第 9 回日本ろう者水泳協会 臨時理事会議事録 作成：2021年2月11日 藤川

【日時】2021年2月7日（日）10時00分～12時00分

【場所】TKP 京都 4 階

【参加者】 豊田理事長・鈴木理事・大平理事・藤川理事・平田理事・猪飼監事  
山塚さん(手話通訳者)山崎さん(手話通訳者)

【添付資料】 H さんから提案書

### 【議案 1】H ドクターについて ※別紙にて説明

ドクター探しから現在までの経緯について鈴木理事から説明した。昨年 12 月の強化会議で紹介した後から H ドクターからいろいろな提案\*があった。ドーピングのメール件から H ドクター自身が協会での位置をどう思っているのか。(メール文章を読んで「デフリンピック」という言葉が出ていなかった等、協会の理解、ろう者の理解について疑問だった)協会のことを全て説明して賛同を得られて一緒に活動していく気持ちが見られれば活動していく。豊田理事長と大平理事と手話通訳者と一緒に実際に H ドクターと会って話す。その後、会長と理事に報告して判断する。

\*いろいろな提案：トレーナーガイドと組織について・アンチ・ドーピング委員会ではなく医事委員会等

### 【議案 2】第 24 回夏季デフリンピックの開催延期について

2/3、ろうあ連盟から情報共有いただいた。会長と理事と監事全員にパソコンメールで共有済み。ICSD の公式 HP に開催延期と日程(2022 年 5/1~15)を正式発表されていることを掲載してある。2/3 の午後、選手と保護者とスタッフに連絡済み。エントリー締切はまだ連絡なし。選考大会については 3 月の日本パラ選手権はこのまま実施する。その以外の選考大会については選考委員会で早めに日程を設けて検討するようにする。開催延期を受けて選手のモチベーションに心配がある。豊田監督からポジティブに考えられるようにメッセージを流すようにする。

### 【議案 3】パラ水泳連盟について

豊田理事長が「条件付きで賛同」と回答済み。3 団体の確認書が案として出ていることで理事全員に確認した。筆談のタブレットを紹介いただいているが、一方的になること等の理由から手話通訳者に手配するように要望する。日本水泳連盟の理事・評議員の選出についてはどうするかと話し合った。副委員長として豊田理事長が立候補する。理由は、健聴者と一緒に活動するとき、ろう者として意見を出せることができる環境を作ることが大事。

パラ水泳連盟の理事：豊田理事長 日本水泳連盟の委員：豊田理事長と大平理事にする。

### 【議案 4】その他

#### ・交通費の源泉について

概算払いとするが本人は5年間領収書を保管しておく(税務署対策ため)その件は負担がかかるため、JPCに変えてもらえるように猪飼監事が依頼する。鉄道のみではなく、場合によってはバスとタクシーとバスなどは申請可能。お金のことで分からないことがあるときは、個人で猪飼監事にメールして、猪飼監事はまとめて確認する。

【参考】源泉は謝金と日当のみ

#### ・午後の内容について

1月の理事会の内容を共有する。強化事業の規程を宿題として依頼する。3月の日本パラ選手権大会帯同については、豊田理事長・平田理事・藤川理事・佐藤さん・峯さんをお願いする。

#### 【議案5】リモートリハーサルについて

強化事業の関係で1時間くらいリモートリハーサルを実施する。13:30からミライロの上原さまからZoomの活用方法について説明してくれる。ZoomのURLは豊田理事長が準備する。

上記(1)～(5)において理事全員承認した。

**★次回は3月14日(日) 9時半～16時半 ハートピア京都**

	監事	理事長	担当
認			

## 第 9 回日本ろう者水泳協会 理事会 議事録 作成：2021 年 4 月 2 日 藤川

【日時】2021 年 3 月 14 日（日）9 時 30 分～16 時 30 分

【場所】ハートピア京都

【参加者】竹中会長・豊田理事長・鈴木理事・大平理事(オンライン)・藤川理事・平田理事・猪飼監事 手話通訳者(3 名：ミライロ)

【添付資料】・各委員会の規程

- ・2021 年デフ子供水泳教室(提案)
- ・ボランティアスタッフ募集について

### 【議案 1】定款・規程について ※別紙にて説明

それぞれの規程を確認、修正を行った。危機管理の規程は次回の理事会で確認する。

#### 財務

- ・「会計担当」を設置
- ・「部長」が残っているため削除
- ・3 条 2 項に変更あり

#### 旅費

- ・証明と理由書が必要
- ・タクシーは領収書と理由書が必要
- ・合宿や大会等の活動のときはレンタカーかバスどちらかを使用すること
- ・宿泊した場合は宿泊証明書と領収書が必要

(参考)報告(JPC)→確認・承認(JPC)→振込(協会)

#### コンプライアンス

- ・コンプライアンス委員会の規程の第 4 条については、竹中会長、公原さん、鈴木理事、藤川理事がいるので男女バランスよくしてスタートする
- ・コンプライアンス相談窓口：鈴木理事(健聴者)・藤川理事(ろう者)

#### 個人情報

- ・個人情報の範囲を厳し過ぎないようにすること(結果と写真等)

個人情報の管理：鈴木理事・藤川理事(登録関係) 豊田理事長・鈴木理事(口座番号)

アンチ・ドーピングは一部修正した。女性スポーツとアスリートは目的だけ助成活用でなくデフスイマーとしてのリーダーシップやアスリート同士の協調性について書き直す。強化関係も変更ある。

修正し、パソコンにて共有して最終確認は竹中会長が行う。

#### 【議案 2】2021 年度日本大会の進捗について

配布資料を確認しながら話し合った。地域広報は兵庫県水泳連盟に依頼する。申込送付先は大平理事の職場か豊田理事長の自宅か後日相談する。参加人数は最大 50 名とする。リレーは 1 チームで 2000 円=1 人 500 円の方が分かりやすい。現時点では、無観客で付添い者 1 名のみ実施する。コロナの状況で緩和を考えていく。プログラムはコストダウンして作業する。リザルトについてはコンピューター運営会社と豊田理事長と大平理事で相談する。コロナ対策として、競技役員の人数を減らし、補助役員は親の会など大人で対応をお願いする。HPと人数については大平理事が兵庫県水泳連盟と相談する。10/9(土)長野県アクアウィングに JSCA エキシビがあるため、日本大会の準備を理事たちをお願いしたい。エキシビは当協会から 1 名し出て欲しいと意見があった。2 年前は星さんに参加していただいた。世界マスターズ大会の障がい部については大平理事と猪飼監事が確認する。

#### 【議案 3】2024 年世界大会の進捗について

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会の小椋さまと嶋本さまと倉野さまと瀬川さまと梅澤さんと当協会から豊田理事長と藤川理事で Zoom にてヒアリング実施した。ヒアリング内容を理事全員に共有した。現在は奈良県と JSC など話し合いを進めている。ろうあ連盟からの情報は藤川理事から準備委員会に共有している。

#### 【議案 4】強化事業について（鈴木理事） 別紙にて説明

20 年度事業報告と 21 年度事業計画を共有した。21 年度の活動ときに手話通訳者に参加有無を豊田理事長が確認してもらう。選手へのヒアリングは強化総務が相談して進める。

#### 【議案 5】デフリンピックに向けてクラウドファンディングについて

デンツーが作成いただいた資料を確認した。デフリンピックの派遣費用として 200 万必要。前回は 50 万円だった。クラウドファンディングは 2 回分けて行う。集めたお金の中に 20%はデンツーへ渡す。協会とデフ水泳のファンづくりは今井絵理子議員に SNS での情報発信の協力を依頼したい。SNS での情報発信(Twitter で 2 万人のフォロワーがある)リターンはワッペンをユニフォームに貼ってもらう、水泳教室（この水泳教室は、自主事業で開催予定の教室とは別で考える）を開催する。①今井議員に協力していただきたい。しかし、党としてはどうかと思うが、個人的にしっかり理解してもらい、協力を得るのことはいいかもしれないとの意見があった。②今井議員にろう水泳協会の特別顧問になってもらいたい。ただ、川崎さんは今井議員の秘書として務めているため特別顧問から外してもらう必要がある。専任したときから 2021 年 4 月からスタートとする。①と②を理事全員が承認した。特別職(会長と顧問と公原さん)の役割は後日確認する。

#### 【議案 6】2021 年デフ子供教室について ※別紙にて説明

議案 5 のクラウドファンディングとは別で協会の事業として行う。概要と日程を確認し理事全員が承認した。8/14-15 の奈良については大平理事が確認するが、10 月の日本大会の申込締切を 1 ~ 2 日ずらしてもらったほうが、申込が増えやすいと意見があった。場所について、名古屋は平田理事、東京と大阪は藤川理事が確認する。金持さんから「選手がデフ子供に教えてあげたほうが良いと思う」と意見があり、平田理事と藤川理事+選手の協力も依頼する。

#### 【議案 7】その他

・ボランティアスタッフ募集 ※別紙にて説明

再度、内容を確認して承認した。日程について変更した後メールにて承認してからホームページに掲載する。

**・来年度の会員登録について**

今年度と同様で登録してもらおう。今年度の登録した選手は指定基準を 21 年度のみ延長することを承認した。今回の申請はしっかりしてもらおう。新規申請がある玉造さんは 2021 年度登録+育成選手申請してもらおう。

**・H ドクターについて**

ドクターについては見送ることに決定することを理事全員に承認した。ただ、賛助会員として登録案内をする。支援で申請来た場合は理事会で賛助としてお知らせする。身体連盟への問い合わせがあったことを河合会長から聞いている。

**・協会のホームページについて**

現在のホームページを継続する。(2 月契約更新済み)新しいホームページについては金持さんと一緒に打合せしながら作業を進めている。3/24 に卓球協会のホームページで修正していただいた山口さんと金持さんと藤川理事で Zoom オンラインにて打合せがある。内容については次回の理事会で共有する。

**・問合せの対応について**

先日、ホームページから問合せが届いた。H さんからの問合せは大平理事が対応し、住所などは鈴木へ、その後 H さんに 2021 年の案内を送ってもらおう。

上記(1)～(7)において理事全員承認した。

**★次回は5月5日(水) 9時半～16時半 ハートピア京都会議室3**